

11月24日本試験の試験監督者 Xさんの証言

私が今回携わったのは A 区の都立 B 高校で、東京都教育委員会から 5 名が立会い、ブリティッシュ・カウンシルから委託を受けた全国試験運営センターより会場責任者が 1 名来ていたのですが、C 社に再委託で全委託とのことで、総本部への報告電話をするだけで当日の会場での全ての作業はノータッチでした。C 社から社員が代理責任者として来たのですが、元々別部署でスピーキングテストについては全国試験運営センターの前日研修を聞いただけ、スタッフリストすらどれだか分からない、本部で何をしたら良いのかも分からない方でした。なので、たまたま私が昨年度(第 2 回ベネッセ開催)のスピーキングテストも携わっていたので、見かねてその場で代わり指揮した状況でした。

資材の振り分けやら、各スタッフとの進行確認等からスタートしたかったのですが、本部に振り当てられた教室が狭くて資材の開梱不可能で、別教室を急遽会場高校にお願いするところから始めなければならず、既に 40 分計画から遅れるスケジュール感覚、スタッフも集員不足からタイミーやテイケイサービスの更に別派遣会社に委託、そこからのスタッフはマニュアル自体当日会場渡しとの事で何も分からない方がスタッフの半数で運営していました。

それでもなんとか全員休憩時間返上してもらうことでタイムスケジュールの遅れを挽回して、受験生にはそれほどの迷惑かけずに運営は出来ました。

機材不良は想定以上であり、マニュアル読み込み出来ないスタッフでの運営でかなりその場での対応力が無ければ酷かったと思います。C 社社員は、他会場でのスタッフドタキャンやら、社員が流れを理解していないので責任者としての職務が果たせず、社員同士で電話やラインで聞いたり相談したりで殆どの時間を費やしていました。幸い、私が不休で当会場は運営したので C 社社員、全国試験運営センターからの担当者が何もしなくても出来なくても回った感じでした。

ベネッセの時は録音出来ているかの確認が出来なかつたり、受験生間の間隔が狭く声が出しにくい環境だったり最悪だと思っていましたが、少なくともタイミーの様な日払い派遣が入る事は無かつたし、会場責任者、副責任者との顔合わせ、スタッフ配置相談等 1 週間前には終わってしまっていたので、試験内容や再受験の問題はあったものの、試験運営体制はまだマシだったイメージです。ブリティッシュ・カウンシルに変更が発表された時から、規模、内容共に運営体制に不安が有りましたが的中してしまいました。

前日研修では、しきりに今年の 1 月~3 月にもぎテストを受験した受験生が多いのでやり方や機材は運営スタッフより受験生の方が良く知っていますとのアナウンスが有りましたが決してそんな事は有りませんでした。

こんな受験生には負担とストレスしかない、正当なスピーキング力が測れないテストは止めるべきだと痛感します。様々な試験監督官の仕事でも特にスピーキングテストは日当が高いので、労働者派遣側からすると美味しい仕事なのですが、それだけの予算がでていることも怖いですし、何より意味の無いテストは中学生に可哀想な気持ちしかありません。